

信州大鹿村の「リニア災害」

～被災地からの報告～

前島久美

「大鹿へは怖くて日曜日にしか来れなくなっちゃいました」

弟のお連れ合いが子供たちを連れて車から降りるなりそう言った。弟一家は車で3、40分のお隣の中川村に住んでいる。リニア工事が始まる以前は、お連れ合いと子供たちは家業の旅館がそれほど忙しくない平日に来ることも多かった。しかし、工事が始まってからは日に日に工事箇所が増え、それに伴いダンプ等の大型車両も増え、とても「行こう！」と思えるような道ではなくなってしまった。結局、唯一の休工日の日曜日にしか来れなくなってしまったわけだ。甥っ子は一昨年生まれて成長が著しいだけに、両親や祖母はきっと頻繁に目にしておきたい時期だろう。そして子供たちが『大鹿村の記憶』を留めるにも幼少期は貴重な時間のはずだ。



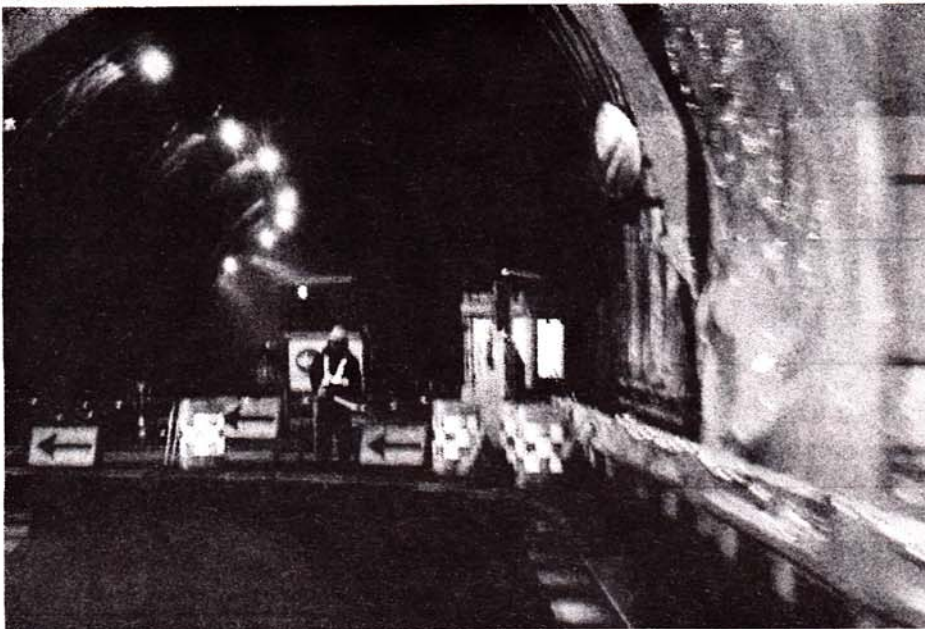
村に大鹿村への主要道、通称小渋線の2017年の通行最大台数を聞けば、小渋線の拡幅工事や新設トンネル2本、村内の関連工事及び本体工事等の台数を併せて最大506台が通行した事になるという。大鹿村はもともとリニア工事がなくても採石関連の大型車両が日に100台通る村だ。なので、既存の通行量と併せると最大で600台を上る大型車の通行があったということになる。その中を生活者や観光客が行き来したという事だ。

工事初期の2017年の段階で村内外から多くの苦情が寄せられた。実際に実家の旅

館を訪れてくださる方が到着されるなり口々に苦情を述べられた。「このダンプの量はなんなのか」「十年も続くんじゃもう頻繁に来れない」とか「帰りはダンプが通らない道で帰りたい」等々。こちらも一緒に文句を言いたいのを押さえて、できるだけ穏やかに対応するよう心がけた。役場や観光協会へ直接訪ねて苦情を伝える観光客も少なくなかったという。昨年の時点で村内の交通量が許容範囲をすでに超している事実がありながらピーク時で1700台が走る村になるという想定は今のところ変わらない。

2016年11月の着工以来、細い曲がりくねった道に複数の工事が入りその上、大型車両とのすれ違いが頻繁になった。地元の人でさえもこの道路環境に疲弊する。私自身、街へは仕事がない限り出ないようになったし、平日であれば工事がお昼休みに入る正午から13時の間に出かけるか、少し遠回りになっても交通量が多い小渋線を極力避けて通るようにしている。

近所の親しくしているおばちゃんCさん(83)は癌のサバイバーだ。一昨年ご主人を亡くされてからは1人で畑を切り盛りする。息子さんは村から2時間くらい離れた街に暮らしているのでそう頻繁には訪ねてこない。Cさんは、今まで3ヶ月に1回、車で1時間の病院に自分で運転して検診を受けていた。けれど工事車両が多い道の運転に不安を感じ今は6ヶ月に1回の検診に減らした。平日に街での買い出しが必要な時は私が



昨年12月に起きた崩壊事故後仮普及は12月29日にされ、しばらく工事中のトンネルを利用させられた。トンネル内に張られた白いシートが光を反射してピカピカ光って異様な空間だった。工事中のトンネルを利用させるのは異例らしい。

運転して一緒に出かける時もある。工事が始まった村で私たちは、親類との交流や、福祉医療の受診制限、買い物困難など日々「リニア災害」と直面している。昨年12月に起きたリニア関連工事の崩落事故により村への主要道が全面通行止めになった。見た目も派手だったのでメディアはこぞって報道した。その時は県内においては多少話題になったが結局表面化しない（見た目が派手ではない）問題は個人の問題になってしまうのだろう。

■
長期的な視野に立って、一番危惧している事は将来の大鹿村の定住率だ。

ここ数年、ちょうど私と同世代の30代前後の人達が大鹿村の祖父母の家に戻る傾向がみられる。彼らは大鹿出身の親を持ち幼少期は都会で育っているが夏休み等で訪れた大鹿村の記憶がある。たとえ一時的であれ大鹿村に住んでみたり、お試しで生活しているうちに今後の人生設計を大鹿村で模索しようとする人たちも現れる。彼らは少なからず幼

少期の良い記憶をたどって大鹿村にやって来ているようだ。例えば「自然が間近」とか「都会のようなぎすぎす感がない」とか「土のある生活」といった都会とは真反対の要素を彼らは少なからず恋しく感じてやってくる。しかし工事が始まった村で今後は現在みられるような移住のバックグラウンドの形成は期待できないだろう。旅行客のみならず、親類との交流を妨げられているような地域でこれから「大鹿村」の

何が残っていくのだろうかと漠然と不安に思う時がある。

■
大鹿村に道の駅が建設されている。村の広報誌によれば名前を「歌舞伎の里大鹿」に決定したという。果たしてふさわしい名前なのだろうか…いっそ「リニアの里大鹿」の方がじっくり来そうな感じさえある。そのくらい村の風景は一変してしまった。

★前島久美が「リニア着工までの参考映像+現地報告」を都内近郊で出前中★お近くの会場へ是非足をお運びください。

●3月4日@池袋 午後3:00~

東京路上鍼灸チーム TRUST 主催

お問い合わせ先:

ishizaki.t@jasmine.ocn.ne.jp (石崎)

●3月18日@府中市 午後2:00~

原発イヤだ! 府中主催

●3月24日@相模原市藤野 夕方6:00~

リニア新幹線を考える相模原連絡会主催
お問い合わせ先:042(689)2142(河内正道)